

第五次藤井寺市総合計画 後期基本計画

まちづくり重点戦略 進捗状況報告

令和3年度版

重点戦略1 子ども・子育て安心プロジェクト

■ 子育て支援の推進

(参照：第五次藤井寺市総合計画後期基本計画 P24)

< 関連施策 >

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| ・ 就学前教育・保育サービス等の充実 | ・ 相談支援の充実 |
| ・ 安全で快適な就学前教育・保育施設の整備 | ・ 病児・病後児保育事業の推進 |
| ・ 子どもの貧困対策の推進 | ・ 情報提供の推進 |

【進捗内容】

多様化する保育ニーズに対応するため、時間外保育事業（延長保育）や一時預かり事業、病児・病後児保育事業を実施することができ、量の見込みに対する確保方策は達成している。また、子どもの貧困対策のための実態調査、医療費助成の対象年齢拡大や妊婦に対する経済的支援の拡充も実施しており、おおむね計画通り施策を実施することができている。また、市の公式 LINE を活用した情報発信を新たに実施するなど、ニーズや社会潮流にあわせた対応ができている。

しかし、待機児童数については、民間保育施設を誘致し、令和 2 年度に開園したことにより、待機児童の解消に一定の目途が立ち、当初の目標は達成したところだが、令和 3 年度には、令和 2 年度のような新規開園施設もなく、また簡易保育施設が令和 2 年度より 1 か所減少した影響で、待機児童数が増加に転じてしまっている。

【令和 3 年度の主な事業】

- ・ 市内公立幼稚園すべてで預かり保育を実施
- ・ LINE 公式アカウントによる子育て情報の発信（子育てアプリからの移行）
- ・ 子どもの医療費助成の対象年齢を 18 歳到達年度末まで拡大
- ・ 妊娠に 1 万円をチャージしたご当地 WAON カードを配付（イオンとの公民連携により、妊婦対象のイベントを検討（新型コロナの影響で実施できず）） など

【関連まちづくり指標】

| 指標名 | 単位 | 現況値 (平成30年度or 令和元年度) | 実績値 (令和2年度) | 実績値 (令和3年度) | 目標値 (令和5年度) | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|--------------------|----|----------------------------|----------------|----------------|----------------|--------|--|
| 就学前教育・保育の確保量 | 人 | 1号認定 1,298 | 1号認定 1,079 | 1号認定 939 | 1号認定 939 | ○計画通り | 令和3年3月31日に藤井寺北幼稚園を藤井寺幼稚園に統合したことで、供給過多となっている1号認定の確保量を、計画通り減少することができた。 |
| | | 2号認定 722 | 2号認定 817 | 2号認定 817 | 2号認定 862 | △横ばい | 新規開設施設はなく、既存施設の定員増もなかったため、確保量の増減はなかった。 |
| | | 3号認定 474 | 3号認定 572 | 3号認定 572 | 3号認定 597 | △横ばい | 新規開設施設はなく、既存施設の定員増もなかったため、確保量の増減はなかった。 |
| 地域子育て支援拠点事業の確保量 | 人 | 11,891 | 22,424 | 22,424 | 16,473 | ○計画通り | 令和2年度にふじみ保育園の誘致により確保量を拡大し、令和3年度においても引き続き実施し、確保量を確保できている。 |
| 地域子育て支援拠点事業の確保量 | 人 | 11,891 | 22,424 | 22,424 | 16,473 | ○計画通り | 令和2年度にふじみ保育園の誘致により確保量を拡大し、令和3年度においても引き続き実施し、確保量を確保できている。 |
| 病児・病後児保育事業の確保量 | 人 | 1,952 | 3,172 | 3,172 | 3,172 | ◎目標値達成 | 令和2年4月に開園したふじみ保育園において病後児対応型と体調不良児対応型を実施したことにより、目標値を達成しており、令和3年度においても引き続き実施し、確保量を確保できている。 |
| 赤ちゃんの駅整備環境に対する満足度 | — | 90.9 | 100 | 93.5 | 上昇 | ○計画通り | アンケート内に要望についての記載があれば、実現可能な範囲で対応していることが、高い満足度を維持できていると思われる。 |
| 子育て支援アプリの累計インストール数 | 件 | 1,392 | 1,760 | 1,902 | 2,321 | — | ニーズや利便性、費用対効果を考慮し、令和4年2月にLINE公式アカウントにアプリ機能を移行し、3月をもってアプリを閉鎖した。 |

■ 学校教育の充実 （参照：第五次藤井寺市総合計画後期基本計画 P25）

< 関連施策 >

- ・ 学校教育環境の整備・充実
- ・ 確かな学力の育成
- ・ 地域の歴史文化資産を活かした教育の推進
- ・ 教育的支援の充実

【進捗内容】

学校施設等整備実行計画に基づいて順調に施設整備が進んでいる。学力向上に向けては、GIGA スクール構想実現のため、全児童・生徒にタブレットの配付は完了しており、一層の教育の ICT 化を進めている。また、市内 5 校をスクールエンパワーメント研究モデル校として、「全国学力学習状況調査」、「すくすくウォッチ」、「チャレンジテスト」の分析を実施し、有識者を招いての授業研究を行い、教職員の授業力向上を図り、児童生徒の学力向上に取り組んでいる。そのほか、小中学校に配置している ALT（外国語指導助手）による授業の展開や藤井寺市独自の世界遺産学習などに引き続き取り組んでいる。

しかし、まだまだ調査研究段階であり、関連まちづくり指標の達成や学力向上には結びつけることができていないため、ICT や英語学習において事例の共有や教員研修などを行う必要がある。

【令和 3 年度の主な事業】

- ・ スクールエンパワーメント研究モデル校の実施
- ・ 公務支援システムの導入
- ・ 小中学校トイレ改修
- ・ 屋内運動場への空調設置 など

【関連まちづくり指標】

| 指標名 | 単位 | 現況値 (平成30年度or 令和元年度) | 実績値 (令和2年度) | 実績値 (令和3年度) | 目標値 (令和5年度) | 進捗状況 | 進捗状況等に 関する要因 |
|--|----|----------------------------|----------------|----------------|----------------|--------|---|
| 全国学力学習状況調査の自己肯定感の回答率 (質問項目：自分には良いところがあると思う) | % | 小：77.1 | — | 小：71.6% | 小：85.0 | ×下降 | 新型コロナウイルス感染症拡大により児童が主体的に活動できる行事等が減少したため。 |
| | | 中：64.8 | — | 中：64.4% | 中：75.0 | △横ばい | 新型コロナウイルス感染症拡大により生徒が主体的に活動できる行事等が減少したため。 |
| 藤井寺市学校施設改修（早期耐震化）計画 耐震化率 | % | 100 | 100 | 100 | 達成済 | ◎目標値達成 | 計画通り目標を達成済み。 |
| 藤井寺市立学校施設等整備実行計画 推進率 | % | 38.6 | 42.1 | 55.2 | 63.1 | ○計画通り | 計画通り進められている。令和4年度以降は、公共施設保全計画に取り込み、公共施設全体の中で優先順位付けを行うこととなる。 |

■ 青少年健全育成の推進（参照：第五次藤井寺市総合計画後期基本計画 P25）

< 関連施策 >

- ・ 地域における子どもの居場所づくり

【進捗内容】

放課後児童会において待機児童が発生しないよう、適宜関係各所と協議をし、必要な実施場所や指導員を確保することができており、令和２年度に引き続き待機児童０を達成することができた。放課後子ども教室推進事業においては、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、令和２年度より様々な取り組みを実施することはできたが、地域の方々の協力を得られにくい状況が続いている。

【令和３年度の主な事業】

- ・ 公民連携により、民間企業（（株）ダイドードリンコ提供）のプログラムを実施 など

【関連まちづくり指標】

| 指標名 | 単位 | 現況値 (平成30年度or 令和元年度) | 実績値 (令和2年度) | 実績値 (令和3年度) | 目標値 (令和5年度) | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|---------------------------------------|----|----------------------------|----------------|----------------|----------------|--------|---------------------------------------|
| 放課後児童会の 全学年受け入れ 実施校数 | 校 | 7 | 7 | 7 | 達成済 | ◎目標値達成 | 計画通り目標を達成済み。 |
| 放課後児童会の 待機児童数 | 人 | 17 | 0 | 0 | 0 | ○計画通り | 関係各所との協議により、実施に必要な 場所や人員の確保ができたため。 |
| 放課後児童会と 放課後子ども教 室の一体型運営 の実施数 | 校 | 7 | 7 | 7 | 達成済 | ◎目標値達成 | 放課後児童会との連携体制はすでにでき ている。 |

■ 男女共同参画の推進 （参照：第五次藤井寺市総合計画後期基本計画 P26）

< 関連施策 >

- ・ 女性の活躍推進
- ・ ワーク・ライフ・バランスの普及啓発
- ・ 企業の取組支援

【進捗内容】

特定事業主行動計画の実施状況をホームページで公表するとともに、市職員への各種啓発活動を行った。また、企業も含めた男女共同参画やワーク・ライフ・バランスの普及啓発のため、従来の手法にとらわれず、市広報紙、Youtube の市公式チャンネル、啓発リーフレット等により、男女共同参画への理解推進に関する情報提供や資料の配付を行った。

今後は、男女共同参画の職場づくりを推進するため、市としての取組を充実し、市内の企業へ発信していく必要がある。また、企業の取組支援が十分に取組めていないため、市内企業の実態の把握を行うとともに、更なる啓発普及の取組が必要である。

【令和 3 年度の主な事業】

- ・ 職員向け「男性職員の子育て制度の手引き」の作成・周知
- ・ 各種情報提供の充実 など

【関連まちづくり指標】

| 指標名 | 単位 | 現況値 (平成30年度or 令和元年度) | 実績値 (令和2年度) | 実績値 (令和3年度) | 目標値 (令和5年度) | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|------------------------------|----|----------------------------|----------------|----------------|----------------|------|--|
| 審議会等への女性委員参画率 | % | 26.0 | 24.8 | 27.5 | 35.0 | △横ばい | 全庁に対して女性登用について取組依頼をしたが、理解の浸透には至らなかった。 |
| ワーク・ライフ・バランスに関する講演会、講座等の実施回数 | 回 | 2 | 1 | 0 | 5 | ×下降 | 新型コロナウイルス感染症をめぐる社会情勢により、講演会、講座等を制限したため指標は下降したが、ホームページでの啓発は行った。 |

■ 緑とうるおいのある環境の創出（参照：第五次藤井寺市総合計画後期基本計画 P26）

< 関連施策 >

- ・ 遊べる公園の整備推進

【進捗内容】

地域の子どもたちが安心して遊べるよう、順次、老朽化した公園の遊具の整備を実施した。あわせて、ふじみ緑地に大型複合遊具を新たに設置することができたが、まちづくり指標でもわかるよう遊具の整備に遅れが生じている。引き続き、優先度をつけながら、公園遊具の改修を進め、遊べる公園の整備を推進していく。

一方で、当初計画ではトイレ整備も進めることとしていたが、衛生面での管理が困難なことや犯罪の温床化防止、コンビトイレの公共化、バリアフリー化等の改修条件が厳格かつ高額なため、公園のトイレのあり方から検討を行っており、整備改修が実施できていない。引き続き、優先度をつけながら、遊具やトイレ改修を進め、遊べる公園の整備を推進していく。

【令和3年度の主な事業】

- ・ ふじみ緑地への大型複合遊具の新設 など

【関連まちづくり指標】

| 指標名 | 単位 | 現況値 (平成30年度or 令和元年度) | 実績値 (令和2年度) | 実績値 (令和3年度) | 目標値 (令和5年度) | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|--------------------|----|----------------------------|----------------|----------------|----------------|-------|---|
| 大型遊具の整備 改修の累計件数 | 件 | 0 | 0 | 1 | 4 | ○計画通り | ふじみ緑地に複合遊具を設置した。 |
| トイレの整備改 修の累計件数 | 件 | 0 | 0 | 0 | 3 | △横ばい | 衛生面での管理が困難なことや犯罪の温床化防止、コンビトイレの公共化、バリアフリー化等の改修条件が厳格かつ高額なため、公園のトイレのあり方から検討を行っているため。 |

■ 健康づくりの推進 (参照：第五次藤井寺市総合計画後期基本計画 P26)

< 関連施策 >

- ・母子保健サービス等の充実

【進捗内容】

妊婦支援として、妊婦健康診査に対し 14 回の助成を行い、さらに多胎児の妊婦には追加で 5 回の助成を行っている。そのほか、令和 3 年度より子ども医療費助成の対象を 18 歳到達年度末まで拡大した。産後、身近に相談できる人がいない方などを対象に、助産師が宿泊、日帰りや訪問でサポとする産後ケア事業においても対応できる病院を増やすなど、適宜制度の充実を図ることができている。相談事業においては、子育て世代包括支援センターを設置し、相談体制の充実を図っているが、新型コロナウイルスの影響により一部の事業が実施できていない状況がある。

【令和 3 年度の主な事業】

- ・産婦健診事業
- ・産後ケア事業
- ・子どもの医療費助成の対象年齢を 18 歳到達年度末まで拡大 など

【関連まちづくり指標】

| 指標名 | 単位 | 現況値 (平成30年度or 令和元年度) | 実績値 (令和2年度) | 実績値 (令和3年度) | 目標値 (令和5年度) | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|---------------------|----|----------------------------|----------------|----------------|----------------|-------|---|
| 4か月児健康診査 受診率 | % | 99.3 | 96 | 98 | 維持 | ○計画通り | コロナ禍ではあるが、集団健診において感染予防対策を行ったため、受診率は減少することなく実施できた。 |
| 1歳6か月児健康 診査受診率 | % | 95.1 | 96.9 | 97.3 | 97 | ○計画通り | |
| 2歳6か月児歯科 健康診査受診率 | % | 92.3 | 86.7 | 89.7 | 維持 | ○計画通り | |
| 3歳6か月児健康 診査受診率 | % | 96.3 | 97.7 | 96.6 | 維持 | ○計画通り | |

重点戦略2 まちなかにぎわいアッププロジェクト

■ 商工業の振興 (参照：第五次藤井寺市総合計画後期基本計画 P27)

< 関連施策 >

・ 商店街活性化への支援 ・ 創業への支援 ・ 事業継承の推進 ・ 中小企業への支援

【進捗内容】

コロナ禍であったこともあり、まちづくり指標にある既存補助制度の活用は伸びていないものの、行動制限緩和対応や雇用促進などコロナ禍に対応した様々な事業者支援事業を実施した。商店街活性化においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、落ち込んだ市内消費喚起を目的に商店街が実施するイベントや老朽化した商店街設備の更新事業に対し、補助金制度による支援を行った。そのほか、商工業振興のため、企業の自社製品や技術力などの情報発信、販路拡大や市場開拓など企業活動に対する補助金などの支援を行った。また、市内商工業者に対するアンケート調査の実施や事業者勉強会との協働により現状課題の把握や検討を行うことができた。次年度からは、アンケート結果を分析し、企業価値の向上の支援により商工業振興の機運を高めるとともに、情勢に応じた事業者支援補助制度の見直しを行い、充実を図る。また、アンケート結果や事業者との勉強会により得られた情報をもとに、中小企業振興に関する計画策定を進める。

【令和3年度の主な事業】

- ・ 市内商工業振興に関する新たな計画策定に向けた調査
- ・ 事業者支援補助金（チャレンジ応援型、雇用調整助成金利用促進型、販路開拓支援型、雇用促進奨励金型、行動制限緩和対応型）
- ・ 創業スクール など

【関連まちづくり指標】

| 指標名 | 単位 | 現況値 (平成30年度or 令和元年度) | 実績値 (令和2年度) | 実績値 (令和3年度) | 目標値 (令和5年度) | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|-------------------|----|----------------------------|----------------|----------------|----------------|-------|---|
| 商店街活性化補助制度の年間利用件数 | 件 | 2 | 5 | 1 | 3 | △横ばい | コロナ禍により事業環境が厳しく商店街活動への取り組みがなかった。 |
| 創業支援事業補助制度の年間利用件数 | 件 | 4 | 0 | 0 | 5 | △横ばい | 予算の確保ができなかった為スクールのみの開催となった。 |
| 販路開拓支援制度の年間利用件数 | 件 | 3 | 1 | 4 | 5 | ○計画通り | 市広報に加えてHPやSNSを通じた制度の周知等により件数をあげることができた。 |
| 先端設備等導入計画の累計認定件数 | 件 | 4 | 10 | 13 | 10 | ○計画通り | 市広報に加えてHPやSNSを通じた制度の周知等により件数をあげることができた。 |

■ 都市型農業の振興（参照：第五次藤井寺市総合計画後期基本計画 P27）

< 関連施策 >

- ・ 都市型農業の振興
- ・ 次世代農業者の育成・サポート

【進捗内容】

市内に貸農園を開設し（2 箇所）、市民が農業を体験できる機会を提供し、利用率 100%を達成した。また、新たな貸農園の開設に向けて民間の農園事業者と農地所有者と連携し、民間主導による新たな貸農園を開設することができた。

地元農業者と協働により引き続き朝市や農業体験学習等を実施し、生産意欲の向上や市民に対する地元農業への理解促進を図ることができた。また、農作物の開発に関する相談・支援を行い、大阪産（もん）登録の支援や農作物の学校給食への採用など、地場産の普及促進を行ったほか、六次産業につながった既存の商品の PR に努めた。

しかし、一方で、新たな農業の担い手の育成・確保にはつなげることができていないため、今後は若い新規就農希望者が増えるように、時代の要請に合った農業の周知方法を検討する。

【令和 3 年度の主な事業】

- ・ 民間主導による、手ぶらで農業ができる都市型農園の新規開設
- ・ 貸農園事業
- ・ 農業体験学習
- ・ 地元農家との協働による朝市やトラック市の開催 など

【関連まちづくり指標】

| 指標名 | 単位 | 現況値 (平成30年度or 令和元年度) | 実績値 (令和2年度) | 実績値 (令和3年度) | 目標値 (令和5年度) | 進捗状況 | 進捗状況等に 関する要因 |
|-------------------|----|----------------------------|----------------|----------------|----------------|------|--|
| 朝市・トラック 市の開催回数 | 回 | 7 | 6 | 4 | 7 | × 下降 | 新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、開催することはできたが、目標値に近づけることができなかった。 |

■ 観光の振興 (参照：第五次藤井寺市総合計画後期基本計画 P28)

<関連施策>

- ・魅力ある観光コンテンツづくりの推進
- ・様々なターゲットに応じた情報発信
- ・来訪者の利便性の向上
- ・観光振興を担う人材育成、体制整備の推進
- ・近隣自治体や民間事業者、教育機関等との連携

【進捗内容】

観光協会と連携し、古墳やはにわなどをモチーフにした、もしくはご当地食材を使った商品やお土産物を募集し、商品情報の収集や新たな商品の開発の促進を図った。また、アイセルシュラホールを活用し、市外・府外・国外に観光拠点としての認知力を向上させるため、フォトスポットの制作などの観光コンテンツを計画通り制作し、SNSなどを活用した情報発信を行っている。

そのほか、ターゲットに応じた情報発信やコロナ禍に対応したマイクロツーリズムを実施した。また、民間事業者と連携し音声ガイドダンスアプリに謎解きとデジタル商品券を組み合わせたサービスを実証実験として実施するなど、観光振興にむけおおむね計画通り進めることができおり、まちづくり指標も令和5年度の目標値を上回っており順調に推移している。

しかし、シェアサイクルの導入においては、市域単位での実施を見合わせるなど、一部計画に沿った実施ができていない。

【令和3年度の主な事業】

- ・コロナ禍でも頑張る観光プロジェクト・店の応援業務
- ・アイセルシュラホール活用事業
- ・マイクロツーリズムの推進
- ・古市古墳群を学び、周遊できるコンテンツ「音声ガイドアプリ「Pokke」」の実施
- ・マルシェイベント「ハレマチビヨリ」の実施 など

【関連まちづくり指標】

| 指標名 | 単位 | 現況値 (平成30年度or 令和元年度) | 実績値 (令和2年度) | 実績値 (令和3年度) | 目標値 (令和5年度) | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|--------------------|----|----------------------------|----------------|----------------|----------------|-------|---|
| 観光案内所来館者数 | 人 | 10,680 | 7,390 | 18,431 | 14,400 | ○計画通り | Instagramや音声ガイドアプリを活用した観光キャンペーンの他、「買って応援ふじいでら商品券」の交換場所となったため。 |
| 観光ウェブサイトのアクセス件数 | 件 | 57,296 | 62,805 | — | 84,000 | — | サイトリニューアルに伴うグーグルアナリティクスの不具合により、算出不可。 |
| 市プロモーションサイトのアクセス件数 | 件 | 4,103 | 4,249 (見込値) | 12,414 | 7,200 | ○計画通り | 観光難易度A級シティのサイトリニューアルや各キャンペーンの告知等、情報の充実を図ったため。 |
| 「#フジイデライク」への総投稿数 | 件 | 3,395 | 10,168 | 12,118 | 11,000 | ○計画通り | フジイデライクを活用した観光キャンペーンや市の景観賞募集に活用する等、情報の充実を図ったため。 |

■ 世界文化遺産関連施策の推進 (参照：第五次藤井寺市総合計画後期基本計画 P28)

<関連施策>

- ・世界文化遺産登録を契機としたプロモーション活動の推進
- ・古市古墳群を学び、周遊し、交流できる環境の整備

【進捗内容】

来訪者が市内を周遊していただくため、案内板や Wi-Fi 整備を引き続き実施するとともに、もずふるレンタサイクルの継続実施をはじめ、百舌鳥・古市古墳群をつなぐカーシェアリングの検討まで進めることができた。バス駐車場・乗降場やトイレの整備については、世界遺産の校正資産である津堂城山古墳横のふじみ緑地にて、バス駐車場やトイレの整備を進めたが、そのほかの整備については関係各課と検討を進めているが、住宅都市として成長し、住宅密集地となっている市域では、まとまった場所が確保できない点が課題となっている。

また、アイセルシュラホールを活用した観光拠点化やガイドンス機能の整備検討のほか、様々な団体や媒体によるプロモーションや TikTok の人気クリエイターによるプロモーション動画の配信等も実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントに制限があり、来訪者を増やすことができておらず、まちづくり指標も下降してしまっている。

【令和3年度の主な事業】

- ・ Free Wi-Fi 設置
- ・ TikTok Japan と連携し、人気クリエイターによるプロモーション動画の配信
- ・ アイセルシュラホールの観光拠点化
- ・ 教育機関と連携した世界遺産学習の実施 など

【関連まちづくり指標】

| 指標名 | 単位 | 現況値 (平成30年度or 令和元年度) | 実績値 (令和2年度) | 実績値 (令和3年度) | 目標値 (令和5年度) | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|------------------------------------|----|----------------------------|----------------|----------------|----------------|------|--------------------------------|
| ガイドンス施設 「まほらしろや ま」への来訪者 数 | 人 | 16,425 | 19,379 | 11,254 | 20,000 | ×下降 | コロナ禍で来訪者が減少し、ガイドンス施設の休館もあったため。 |

■ にぎわい・交流拠点づくりの推進（参照：第五次藤井寺市総合計画後期基本計画 P29）

<関連施策>

- ・ 駅周辺の拠点機能強化
- ・ 市民とのにぎわいと魅力の創出
- ・ 民間事業者との連携によるにぎわい・交流創出
- ・ まちの活性化

【進捗内容】

景観整備の推進をはじめ、道明寺駅周辺の再整備に向けて地元住民による協議会を設置し、将来のまちのコンセプト、整備方針、整備事業案などを取りまとめた基本構想を作成するなど、計画通り進めることができている。

市民とのにぎわいづくりにおいては、新型コロナウイルス感染症による影響があり、まちづくり指標は計画通り進んでいないものの、地元まちづくり団体や大型商業施設等との連携により、イベントを開催することができた。さらに、新たな市民まつりの開催に向けて、新まつりイベント準備委員会を開催するなど、にぎわい創出に向けての取組が実施できている。

そのほか、都市計画道路八尾富田林線の完成に向けて、地権者による協議会をつくり、沿線のまちづくりについて検討を進めている。令和3年度は事業化検討パートナーを選定したところで、今後は事業化検討パートナーとともに、地権者の意向調査や土地利用計画案作成など、事業化に向けた検討を行う。

全体を通して、市民協働によるまちづくりがおおむね計画通り進めることができている。

【令和3年度の主な事業】

- ・ 道明寺駅周辺整備
- ・ 景観づくりの推進
- ・ イオン藤井寺ショッピングセンターとの連携
- ・ 新たな市民まつりの検討
- ・ 八尾富田林線整備に伴う沿道のまちづくり検討 など

【関連まちづくり指標】

| 指標名 | 単位 | 現況値 (平成30年度or 令和元年度) | 実績値 (令和2年度) | 実績値 (令和3年度) | 目標値 (令和5年度) | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|------------------------------------|----|----------------------------|----------------|----------------|----------------|------|------------------------------------|
| 市街化調整区域内の土地所有者が土地利用方針の話し合いに参加したい割合 | % | 80 | — | — | 90 | — | 令和5年度に参加意向の調査を実施するため。 |
| 市内駅乗降客数 (3駅合計) | 人 | 49,729 | — | 43,549 | 増加 | ×下降 | コロナ禍による外出機会の減少や人口減少等が要因の一つとして考えられる |

■ 歴史文化の保全・継承 (参照：第五次藤井寺市総合計画後期基本計画 P29)

< 関連施策 >

- ・ 古市古墳群の保全・活用

【進捗内容】

市内の史跡指定地の公有化に向け、市として重点的に公有化する必要性や緊急性をふまえておむね計画通り実施することができており、まちづくり指標も前倒して達成できている。史跡追加指定については、史跡古市古墳群の第三種地区（周知の埋蔵文化財包蔵地であり遺構の保存を積極的に図る範囲）と、史跡国府遺跡の隣接地で、新たに追加指定を行い、保護を進めることができた。まだまだ公有化や追加指定の必要な用地があるため計画的に保護を図る必要がある。

史跡古市古墳群の保存活用に向けては、羽曳野市と共同で、国史跡古市古墳群保存活用計画を令和3年度と令和4年度の2か年で策定する。

【令和3年度の主な事業】

- ・ 史跡指定地の公有化
- ・ 史跡追加指定
- ・ 史跡古市古墳群城山古墳緊急整備事業
- ・ 国史跡古市古墳群保存活用計画の策定 など

【関連まちづくり指標】

| 指標名 | 単位 | 現況値 (平成30年度or 令和元年度) | 実績値 (令和2年度) | 実績値 (令和3年度) | 目標値 (令和5年度) | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|---------|----------------|----------------------------|----------------|----------------|----------------|--------|---|
| 史跡の指定面積 | m ² | 143,467.28 | 143,924.13 | 144,328.20 | 143,791.61 | ◎目標値達成 | 地権者への丁寧なアプローチにより、貴重な歴史資産の保全について、理解と協力を得ることができたため。 |

■ 都市景観の保全・形成

(参照：第五次藤井寺市総合計画後期基本計画 P29)

<関連施策>

- ・ 景観整備による魅力的な空間づくり
- ・ 古墳群と調和した景観形成の推進
- ・ 景観認定・届出制度及び景観アドバイザー制度の有効活用

【進捗内容】

景観の認定・届出制度を活用した規制誘導を引き続き行うとともに、景観舗装を行った葛井寺南大門前地区において、歴史的なまちなみを保全・再生するため、修景補助制度の補助内容の拡充を図るなど、藤井寺市らしい都市景観形成を実施している。

また、良好な景観形成の推進に向け、景観アドバイザー制度を活用した指導及び助言を行っており、まちづくり指標においても計画通り進めることができている。

しかし、景観形成は民間主体で 50 年程度を要するものであり、まだまだ道半ばとなっている。また、修景補助制度については、活用実績がないため、利用促進を図る必要がある。

【令和 3 年度の主な事業】

- ・ 景観の認定・届出制度を活用した規制誘導
- ・ 街なみ環境整備事業修景施設整備補助
- ・ 屋外広告物の撤去活動
- ・ 景観アドバイザー制度の実施 など

【関連まちづくり指標】

| 指標名 | 単位 | 現況値 (平成30年度or 令和元年度) | 実績値 (令和2年度) | 実績値 (令和3年度) | 目標値 (令和5年度) | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|--------------------------------------|----|----------------------------|----------------|----------------|----------------|-------|---------------------|
| 良好な景観形成を推進するために必要な事業者との景観アドバイザー会議実施率 | % | 100 | 100 | 100 | 100 | ○計画通り | 令和3年度は6回実施することができた。 |

重点戦略3 いきいき長寿プロジェクト

■ 高齢者福祉の推進

(参照：第五次藤井寺市総合計画後期基本計画 P30～31)

<関連施策>

- ・介護予防活動の推進
- ・地域包括支援センターを中心としたセーフティネットの強化
- ・在宅医療・介護連携の推進
- ・認知症対策の強化・充実
- ・高齢者の社会参画の推進
- ・高齢者にやさしいまちづくりの推進
- ・介護保険サービス、多様な支援の充実
- ・支え合い、助け合うまちづくりの推進

【進捗内容】

介護予防推進のため、リハビリ専門職と協働で地区会館等に出向いた体操の実施や、リハビリ専門職および管理栄養士がケアマネジャーと共に対象者の自宅に訪問し、身体の状態や栄養状態の確認を行い、状態に合わせて改善に向けた助言をする取組を実施している。生活支援体制の充実に向けては、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域包括支援センターを中心に相談・支援の実施をはじめ、虐待や認知症に関する支援を引き続き実施している。そのほか、市立藤井寺市民病院に「在宅医療・介護連携支援センター」を設置して在宅医療・介護連携に関する相談支援を行ったり、老人クラブへの支援や介護保険制度の周知に努めている。

高齢者福祉の推進については、概ね計画通りの取組を実施できているが、高齢者支援については、対面による支援が多くを占めていることから、まちづくり指標が横ばいで推移するなど、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく出ている。書面や電話での支援も行っているが、自宅においても取り組むことができる健康維持のためのプログラムを提示する必要がある。

【令和3年度の主な事業】

- ・いきいき笑顔応援プロジェクト
- ・認知症サポーター養成講座
- ・藤井寺おしゃべりミーティングの開催
- ・老人クラブへの支援 など

【関連まちづくり指標】

| 指標名 | 単位 | 現況値 (平成30年度or 令和元年度) | 実績値 (令和2年度) | 実績値 (令和3年度) | 目標値 (令和5年度) | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|-------------------------------|------|----------------------------|----------------|----------------|----------------|------|--|
| 「ええとこふじいでら」体操に継続的に取り組む住民グループ数 | グループ | 15 | 1 | 2 | 45 | △横ばい | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地区のイベントが開催中止になっているため。 |
| 認知症サポーター数 | 人 | 5,116 | 5,677 | 5,797 | 6,600 | △横ばい | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により講座の開催に支障をきたしたため。 |
| 老人クラブ員数 | 人 | 3,105 | 3,034 | 2,903 | 3,200 | ×下降 | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により新規会員の勧誘に支障をきたしたため。 |

■ 健康づくりの推進 （参照：第五次藤井寺市総合計画後期基本計画 P31）

< 関連施策 >

- ・ 健康づくりの推進
- ・ 各種健（検）診受診率の向上

【進捗内容】

健康づくりに関する講座の開催や藤井寺健康チャレンジ（健康マイレージ）事業の実施による市民の自主的な健康づくりのための事業を実施しているが、新型コロナウイルスの影響により、講座については、計画通りできなかった。

また、体力テスト及びトレーニング講習会についても体育館がワクチン接種会場設営なったことにより実施ができなかった。

がん検診においても受診勧奨や無料クーポンの配布、市外の検診先の新規設定などにより、受診率の向上を目指したが、新型コロナウイルス感染症による受診率への影響出ている。

【令和3年度の主な事業】

- ・ 検診を受診しやすい環境整備
- ・ がん検診受診率の向上策
- ・ 健康づくりに関する講座
- ・ 藤井寺健康チャレンジ（健康マイレージ）事業 など

【関連まちづくり指標】

| 指標名 | 単位 | 現況値 (平成30年度or 令和元年度) | 実績値 (令和2年度) | 実績値 (令和3年度) | 目標値 (令和5年度) | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|-------------------------|----|----------------------------|----------------|----------------|----------------|------|---|
| 胃がん検診受診率 | % | 20.0 | — | — | 30.0 | — | 平成30年度にがん検診に関するアンケートを実施し、その後、同一指標による評価が表れるのは、次回の計画策定後（令和5年度）となる見込み。 |
| 大腸がん検診受診率 | % | 20.3 | — | — | 30.0 | — | |
| 肺がん検診受診率 | % | 16.8 | — | — | 30.0 | — | |
| 乳がん検診受診率 | % | 21.9 | — | — | 30.0 | — | |
| 子宮がん検診受診率 | % | 24.2 | — | — | 30.0 | — | |
| ふじいでら健康チャレンジ参加 賞応募人数 | 人 | 357 | 298 | 359 | 460 | △横ばい | 新型コロナウイルス感染症の影響により、積極的勧奨を控えたため。 |

■ 自然災害対策の推進 (参照：第五次藤井寺市総合計画後期基本計画 P31)

<関連施策>

- ・ 災害への備え
- ・ 自治会や自主防災組織の機能向上

【進捗内容】

災害時の物資援助や避難所確保のため民間企業との防災協定を計画的に締結できている。

また、近年の災害時に発生した問題に対応できるよう適宜マニュアルの見直しを図っており、令和3年度においては「ペット同行避難マニュアル」を策定した。

自主防災組織機能の向上のため、市内3地区において地区防災計画の策定に向けたモデル事業の取組を進めたが、新型コロナウイルスの影響により、地域の住民を集めた取組が思うように実施できず、まちづくり指標にもなっている自主防災組織数を増やすことができていない。

【令和3年度の主な事業】

- ・ 自主防災組織に対する支援
- ・ 地区防災計画モデル事業
- ・ ペット同行避難マニュアルの策定
- ・ 防災協定締結の推進 など

【関連まちづくり指標】

| 指標名 | 単位 | 現況値 (平成30年度or 令和元年度) | 実績値 (令和2年度) | 実績値 (令和3年度) | 目標値 (令和5年度) | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|---------------|----|----------------------------|----------------|----------------|----------------|------|--|
| 自主防災組織結 成数 | 地区 | 30 | 30 | 30 | 37 | △横ばい | 新型コロナウイルス感染症の影響により、増加は図れなかったが、モデル地区での取組など、新たな取組みを実施した。 |

■ 危機管理の推進 （参照：第五次藤井寺市総合計画後期基本計画 P31）

< 関連施策 >

・迅速に対応できる組織・体制

・国土強靱化の推進

【進捗内容】

国土強靱化地域計画の策定をはじめ、各種計画の見直しは順次実施することができている。出水期に備えた「土のう作製訓練」の実施など、災害時においても迅速な対応を図れるよう、事前対策の強化に努めたが、避難所開設訓練など新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった訓練もあった。

また、各種計画の見直しを実施しているが、まちづくり指標にもなっている新たな危機管理マニュアル策定までは進められていない。

【令和3年度の主な事業】

- ・各種訓練の実施
- ・「国土強靱化地域計画」や「地域防災計画」、「南海トラフ地震防災対策推進計画」などの各種計画の着実な実施 など

【関連まちづくり指標】

| 指標名 | 単位 | 現況値 (平成30年度or 令和元年度) | 実績値 (令和2年度) | 実績値 (令和3年度) | 目標値 (令和5年度) | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|--------------|----|----------------------------|----------------|----------------|----------------|------|---|
| 危機管理マニュアル策定数 | 件 | 33 | 33 | 33 | 39 | △横ばい | 危機管理対応指針に基づく危機管理マニュアルの策定に係る取組は実施できていない。しかし、指標の現況値に変更はないが、地域防災計画の見直しに伴い、当該計画を踏まえたマニュアル策定の取組を進めている。 |

(補足) 協働の取組について

これまで、総合計画審議会では、市民協働についての意見が多く取り上げられておりました。つきましては、重点戦略ではありませんが、協働の取組についての進捗状況を補足としてお示しします。

■ 市民参画と協働の推進 (参照：第五次藤井寺市総合計画後期基本計画 P32)

【進捗内容】

市民の意見を市政に反映し、市民参画の推進を図るため、市長タウンミーティングを引き続き実施したほか、市民活動相談会や市民活動レベルアップセミナー、専門家人材派遣事業をオンラインと対面式を組み合わせながら実施し、まちづくりに関わる市民や団体の支援や多様な主体をつなぐ取り組みを行った。

そのほか、社会情勢が一層多様化・複雑化する中で、将来の世代が今後も住み続けたいと思えるまちの実現のため、また、まちに関わる多様な主体が互いの自主性を尊重し、対等な立場で連携しながら、地域課題や社会的課題の解決に向けて取り組んでいくため、協働のまちづくり基本指針を改定した。次年度は、本指針に基づき、市民参画手続きの個別具体の基準をまとめた「(仮称) 市民参加手続きガイドライン」を作成し、市民参画の促進を図ることで、より一層の市民とともにつくるまちづくりの実現を図る。

ボランティアの活用に関しては、これまで同様にボランティアセンターへの登録の普及・啓発を行っているが、新型コロナウイルスの影響で活動が出来ていないこともあり、登録者に更新の意思を確認したところ、登録者数が大きく減少している。今後は、生活スタイルも徐々にコロナ前に戻っていくことが想定されるため、ボランティアの活動の場の提供とともに登録者数を増やしていく必要がある。

【令和3年度の主な事業】

- ・市長タウンミーティングの実施
- ・市民活動サポート事業
- ・協働のまちづくり基本指針の改定
- ・市民公益活動情報を紹介する冊子「HITOTSUNAGI」の発行
- ・市職員向け協働研修の実施 など

【関連まちづくり指標】

| 指標名 | 単位 | 現況値 (平成30年度or 令和元年度) | 実績値 (令和2年度) | 実績値 (令和3年度) | 目標値 (令和5年度) | 進捗状況 | 進捗状況等に関する要因 |
|------------------------------------|----|----------------------------|----------------|----------------|----------------|------|---|
| ボランティアセンターの個人ボランティア登録者数(各年度3月末日時点) | 人 | 56 | 83 | 39 | 92 | × 下降 | も市ホームページでボランティアセンターの普及・啓発を行っているが、新型コロナウイルスの影響で活動が出来ていないこともあり、登録者に更新の意思を確認したところ、登録者数が減少した。 |